

令和5年度 学び舎ひまわり第4講 開催報告

日時 令和5年 11月11日(土) 13時～16時
会場 区役所6階 603号会議室、地域協働ルーム
受講生 28名(地域12名 企業3名 区役所13名)

プログラム内容

自分の地域で実現させたい計画「マイプラン」。興味のあること、今地域で起こっている様々なことを考慮して作成したマイプランを、受講生同士のグループ内で発表、様々な意見を踏まえてブラッシュアップし、思いのこもったものとなりました。

日頃の活動についても情報交換が進み、大変有意義な時間となりました。



Aグループ (防災に関するプラン)

	連合名	氏名	タイトル
地域	大久保最戸	小笹 雄三郎	コロナで沈み込んだ地域のつながりを『防災活動』で復活
地域	永野	小池 節子	中学生との協働の輪を広げよう。
地域	野庭住宅	那須 浩二	災害時における要援護者対策と支援体制の構築
地域	ひぎり	小山 さやか	キャンプ de 防災～楽しみながら防災を知る～
職員	大久保最戸	中山 佳代子	温かな絆で守ろう！愛あふれる♥ふるさと港南
職員	野庭団地	赤松 幸洋	防災訓練で地域交流



Bグループ（見守り支えあいに関するプラン）

連合名・所属		氏名	タイトル
地域	上大岡	松村 恭也	地域住民のプラットフォームの設立
地域	野庭団地	伊藤 純代	日常会話でつなぐ街
企業	港南区商店街 連合会	本間 泰輔	困った時の商店街
職員	日野第一	加藤 勇一	こどもからお年寄りのみんなが楽しく暮らせるまち
職員	港南台	荒木 こだち	ラジオ体操で、「顔合わせ」と「外出」
職員	区内7地区 担当	生末 慶子	ふだんのくらしにしあわせがあふれるまちに！



Cグループ(3世代交流に関するプラン)

連合名・所属		氏名	タイトル
地域	港南台	川村 浩	年の離れた「幼なじみ」： 友達（子ども）から教わる事の大切さ
地域	芹が谷	井上 政男	小学生に教えたい健康麻雀について
企業	横浜商工会議所 南部支部	江塚 潔	港南区の電柱 無くしませんか？
職員	大久保最戸	深澤 美香	声のお届け便♡大久保最戸～オトでつながる多世代交流～
職員	日野	松月 美雄	地域でのゆるやかな多世代交流
職員	芹が谷	藤崎 良太	みんなでワイワイ朝市



Dグループ（地域の魅力づくりに関するプラン）

連合名・所属		氏名	タイトル
地域	笹下	金子 雅一	3世代が楽しめるイベント
地域	日野南	西村 光弘	スポーツを通して世代間交流
企業	港南区工業会	成澤 宏	あって良かった工業会
職員	永野	笹生 健太	行ってみよう！ゆるい繋がりで気軽に参加できる自治会活動
職員	日野南	岡本 康広	自分も活躍！地域も繋がる！

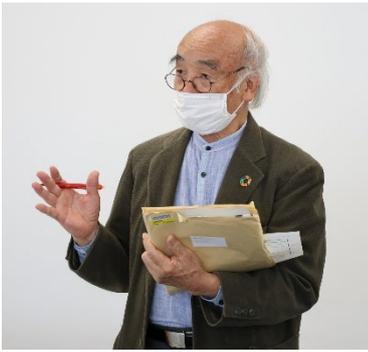


Eグループ（担い手確保・ICTに関するプラン）

連合名		氏名	タイトル
地域	笹下	矢嶋 一紀	町内会って何？みんなで参加 町内会って楽しいよ！
地域	日野第一	大山 伸一郎	LINE 回覧板
職員	笹下	北川 隆範	メタバースを活用した地域交流
職員	日下	駒形 俊文	ふるさと創成のための郷土愛
職員	日野第一	曾我 直樹	地域人材をマッチング～お手伝いアプリで地域参加～



内海先生のコメント（総括）



防災、見守り支え合い、魅力づくり、ICT の活用などのプランが揃いました。全体に共通しているのは「多世代をどうやってつないでいくか」ということ。地域の子どもをお客さんにはしない、子どもが主役で、何か失敗をしてもその失敗を大人が責めない、大人が子ども達のサポートに回る、といった発想が、どのジャンルの活動にもあるといいと感じました。

地域活動をするにあたって、手法や組織編成などがかっちり作るのも手ではありますが、最初から完璧を求めるのではなく、ゆるやかに始めて少しずつ皆さんの意見を取り入れながら、バージョンアップして作っていくというやり方もあります。いきなりハードルを高くせず、気軽にスタートして徐々に理想を目指して動いていくことがいいのだと感じます。

今行っている取組をこれからどうやって一段ずつ質を高めていくかを考えた時に、いかに新たな担い手や協力者を巻き込めるかがカギとなります。「役員だけが先頭を走り、後ろを見たら誰もいなかった」とならないように気をつけることが非常に大切だと感じました。

新たな担い手を巻き込むには、まずは自治会町内会が何をしているかを広く広報することが必要です。仕事や子育てに忙しい世代にはホームページやLINE等、ICTを活用した情報伝達が有効ですが、そういったことに縁遠い方たちもいる。従来の紙媒体も含めて多様な媒体を使って初めて情報が広まります。

「できる人ができることをできる時にやっていく」という考え方が地域活動には重要で、「誰かにやらされる」という感覚では、子どもでも大人でも誰もやる気をなくしてしまいます。どういうことに皆さん興味関心があるのかを探り、それを「活動」というカタチにしていくことで、地域活動に関わる人が少しずつ増えていくのではないのでしょうか。

学びのまとめ 集計結果

回答数 28件 / 回収率 100%

満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
26	2	0	0	0
92.9%	7.1%	0%	0%	0%

受講生の声（抜粋）

- ◎各地域の問題点等は皆同じようだと感じた。いろいろな意見・提案を参考にしたい。
- ◎他の方の発表を聞いて、自分のプランに加えたことなど広がった。違う提案のようにみえて、繋がることがあるとわかったことで、内容が深まった。
- ◎みんなが港南区愛にあふれていると感じた。
- ◎他グループとのコミュニケーションもあつたら良かったなと思った。
- ◎世代間のつながり以外にも、障がいのある方や外国籍の方とのつながりをどう考えているのか意見交換できたら良かった。（職員）
- ◎すべてよかった！（企業）